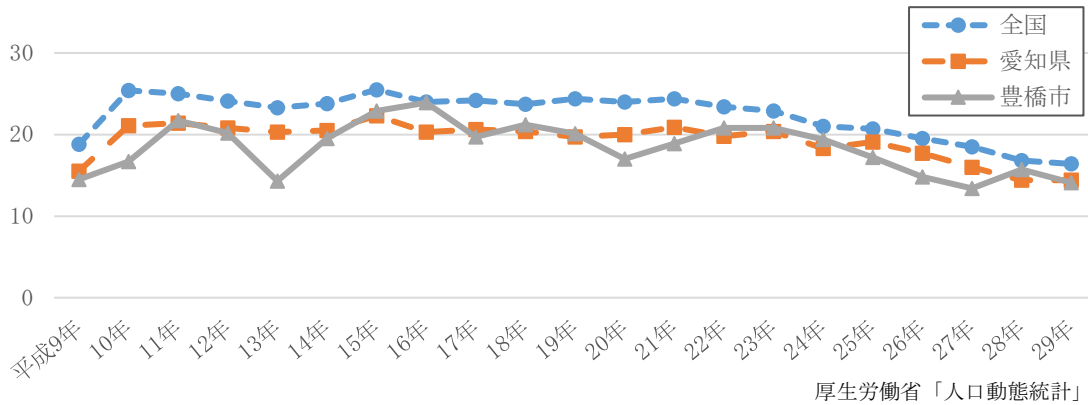


第2章 自殺の現状

1 豊橋市の自殺の現状

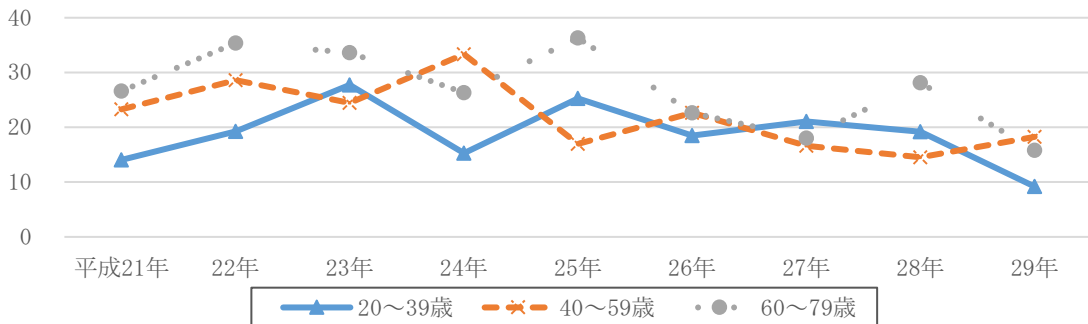
(1) 自殺死亡率* (人口10万人当たりの自殺者数) の年次推移

全国の自殺死亡率は、平成21年(2009年)以降減少しており、本市においても変動しながら減少傾向にあります。



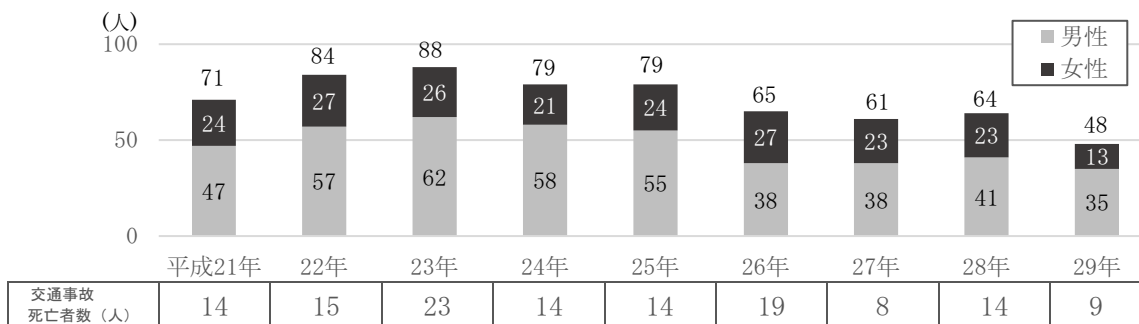
(2) 豊橋市の年代別自殺死亡率の年次推移

20~39歳においては、平成29年(2017年)は減少していますが、平成28年(2016年)までは、ほぼ横ばいで推移しています。



(3) 豊橋市の男女別自殺者数の年次推移

自殺者数を男女別にみると、男性の割合が多くなっています。また、交通事故死亡者数の数倍に上っています。



(参考) 各種統計資料における自殺者数・自殺死亡率の推移(豊橋市・愛知県・全国)

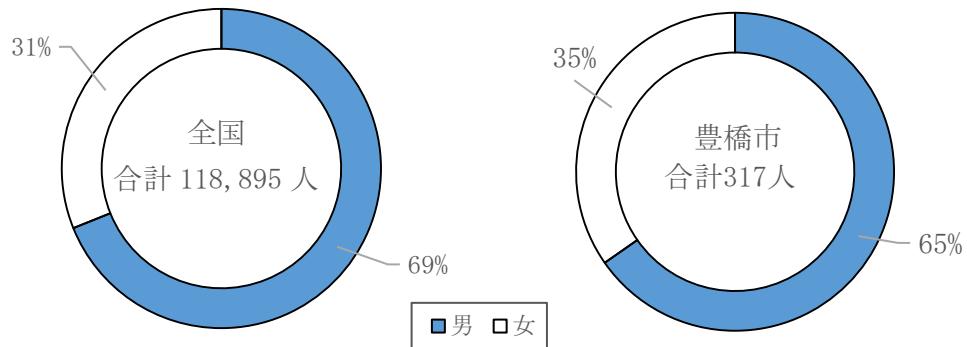
	自殺の概要資料 (警察庁 生活安全企画課)						地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省 自殺対策推進室)						人口動態統計 (厚生労働省 人口動態・保健社会統計室)					
	自殺者数(人)			自殺死亡率 (人口10万対)			自殺者数(人)			自殺死亡率 (人口10万対)			自殺者数(人)			自殺死亡率 (人口10万対)		
	豊橋市	県	全国	豊橋市	県	全国	豊橋市	県	全国	豊橋市	県	全国	豊橋市	県	全国	豊橋市	県	全国
平成9年(1997年)		1,115	24,391										51	1,060	23,494	14.5	15.5	18.8
平成10年(1998年)		1,579	32,863										59	1,451	31,755	16.7	21.1	25.4
平成11年(1999年)		1,547	33,048										77	1,474	31,413	21.7	21.4	25.0
平成12年(2000年)		1,510	31,957										72	1,444	30,251	20.2	20.8	24.1
平成13年(2001年)		1,486	31,042										51	1,418	29,375	14.3	20.3	23.3
平成14年(2002年)		1,552	32,143										70	1,432	29,949	19.5	20.5	23.8
平成15年(2003年)		1,633	34,427										82	1,566	32,109	22.9	22.3	25.5
平成16年(2004年)		1,485	32,325										86	1,432	30,247	23.9	20.3	24.0
平成17年(2005年)		1,532	32,552										71	1,466	30,553	19.7	20.6	24.2
平成18年(2006年)		1,510	32,155		20.7	25.2							77	1,455	29,921	21.2	20.4	23.7
平成19年(2007年)		1,546	33,093		21.0	25.9							73	1,415	30,827	20.1	19.7	24.4
平成20年(2008年)		1,555	32,249		21.0	25.3							62	1,441	30,229	17.0	20.0	24.0
平成21年(2009年)	62	1,623	32,845	16.98	21.9	25.8	71	1,652	32,485	19.4	22.9	25.6	69	1,512	30,707	18.9	20.9	24.4
平成22年(2010年)	81	1,571	31,690	22.16	21.2	24.9	84	1,604	31,334	23.0	22.2	24.7	76	1,434	29,554	20.8	19.8	23.4
平成23年(2011年)	87	1,634	30,651	23.79	22.0	24.0	88	1,640	30,370	24.1	22.6	24.1	76	1,481	28,896	20.8	20.4	22.9
平成24年(2012年)	87	1,454	27,858	22.38	19.6	21.8	79	1,464	27,589	21.6	20.2	21.8	71	1,332	26,433	19.4	18.3	21.0
平成25年(2013年)	81	1,517	27,283	21.33	20.4	21.4	79	1,520	27,041	20.8	20.4	21.1	63	1,389	26,063	17.2	19.1	20.7
平成26年(2014年)	64	1,395	25,427	16.86	18.7	20.0	65	1,424	25,218	17.1	19.0	19.6	54	1,290	24,417	14.8	17.7	19.5
平成27年(2015年)	58	1,301	24,025	15.3	17.5	18.9	61	1,331	23,806	16.1	17.8	18.6	49	1,172	23,152	13.4	16.0	18.5
平成28年(2016年)	67	1,180	21,897	16.91	15.7	17.3	64	1,196	21,703	16.9	15.9	17.0	57	1,055	21,017	15.7	14.4	16.8
平成29年(2017年)	47	1,151	21,321	12.7	15.3	16.8	48	1,165	21,127	12.7	15.47	16.52	51	1,054	20,465	14.1	14.4	16.4

○各統計の違い

区分	自殺の概要資料	地域における自殺の基礎資料	人口動態統計
対象	総人口(外国人を含む)	総人口(外国人を含む)	国内日本人のみ
計上時点	自殺死体の発見日・発見地	自殺死亡者の自殺日・住居地	自殺死亡者の自殺日・住所地
計上方法	死体発見時に処理をした警察官が作成した自殺統計原票を基に作成して計上	左記の警察庁統計を厚生労働省で再集計	死体検案した医師が作成した死亡診断書若しくは死体検案書から調査票を作成して計上

(4) 自殺者の男女比（平成25年（2013年）～29年（2017年）合計）

自殺者数の男女比は、男性が女性の約2倍となっており、これは全国と同様の傾向にあります。



厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(5) 年齢階級別にみた死因順位（平成28年（2016年））

「その他の死因」を除き、15～39歳で「自殺」が死因順位の1位となっており、40～59歳で第3位、60～69歳は第4位となっています。

年 代		1位	2位	3位	4位	5位
子ども ・ 若者	0～14歳	その他の死因*	不慮の事故	—	—	—
	15～19歳	自殺	悪性新生物*	心疾患	不慮の事故	その他の死因
	20～29歳	その他の死因	自殺	不慮の事故	心疾患	悪性新生物
	30～39歳	自殺	その他の死因	悪性新生物	脳血管疾患	—
壮年期	40～49歳	悪性新生物	その他の死因	脳血管疾患	自殺	心疾患
	50～59歳	悪性新生物	その他の死因	心疾患	自殺	脳血管疾患
高齢期	60～69歳	悪性新生物	その他の死因	脳血管疾患	心疾患	自殺
	70～79歳	悪性新生物	その他の死因	脳血管疾患	肺炎	心疾患
	80歳以上	その他の死因	悪性新生物	心疾患	肺炎	老衰

厚生労働省「人口動態統計」

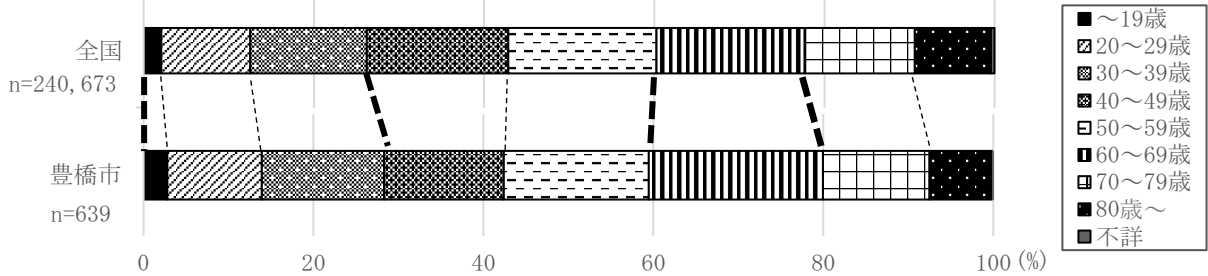
* その他の死因

結核、悪性新生物、糖尿病、高血圧性疾患、心疾患、脳血管疾患、肺炎、肝疾患、腎不全、老衰、不慮の事故、自殺を除いた疾患を含む

(6) 自殺者の年齢構成

1) 全国との比較 (平成21年(2009年)～29年(2017年)合計)

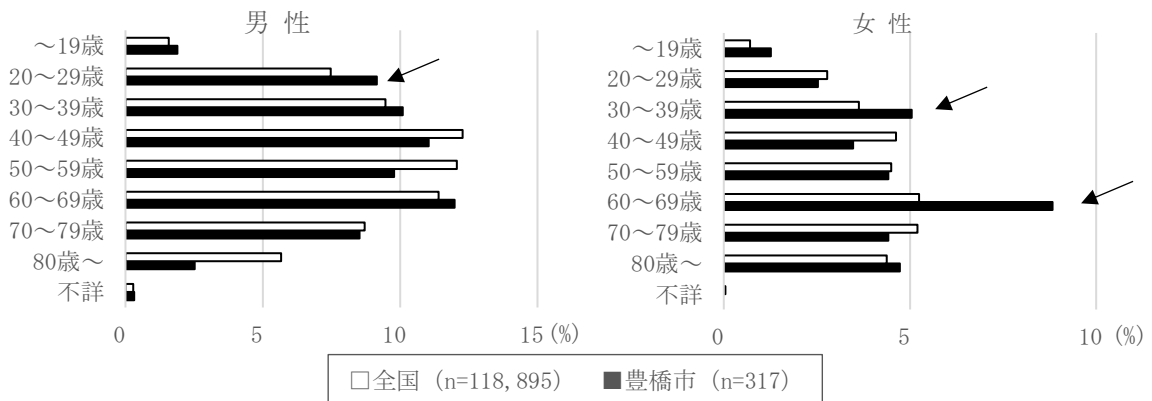
全国と比べ、30歳代までの若者(39歳以下)や60歳代が高くなっています。



厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

2) 男女別の年齢階級別自殺者割合 (平成25年(2013年)～29年(2017年)合計)

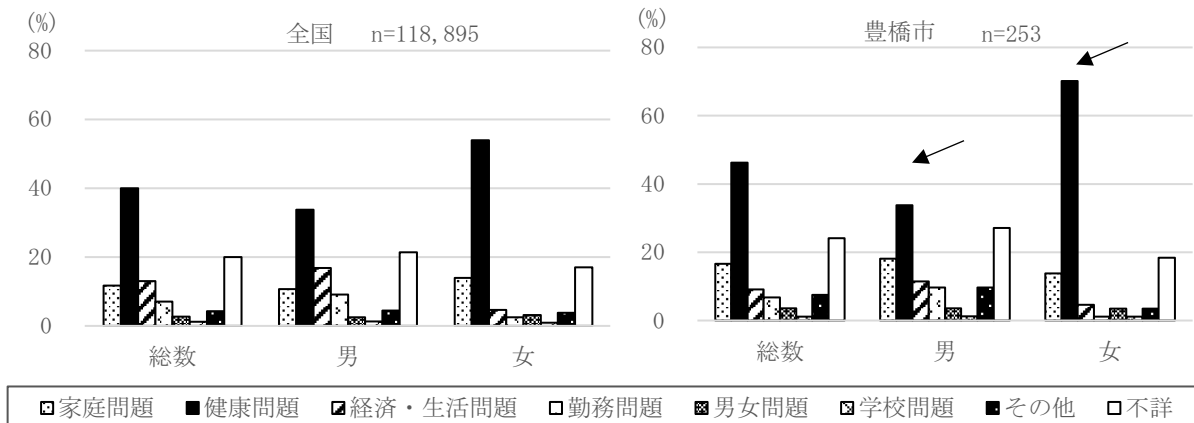
全国と比べ、20歳代の男性や30歳代、60歳代の女性の割合が高くなっています。



厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(7) 原因・動機別の自殺者割合 (平成25年(2013年)～29年(2017年)合計)

男女とも「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」の順となっています。全国と比べ、男性においては「家庭問題」が高くなっています。

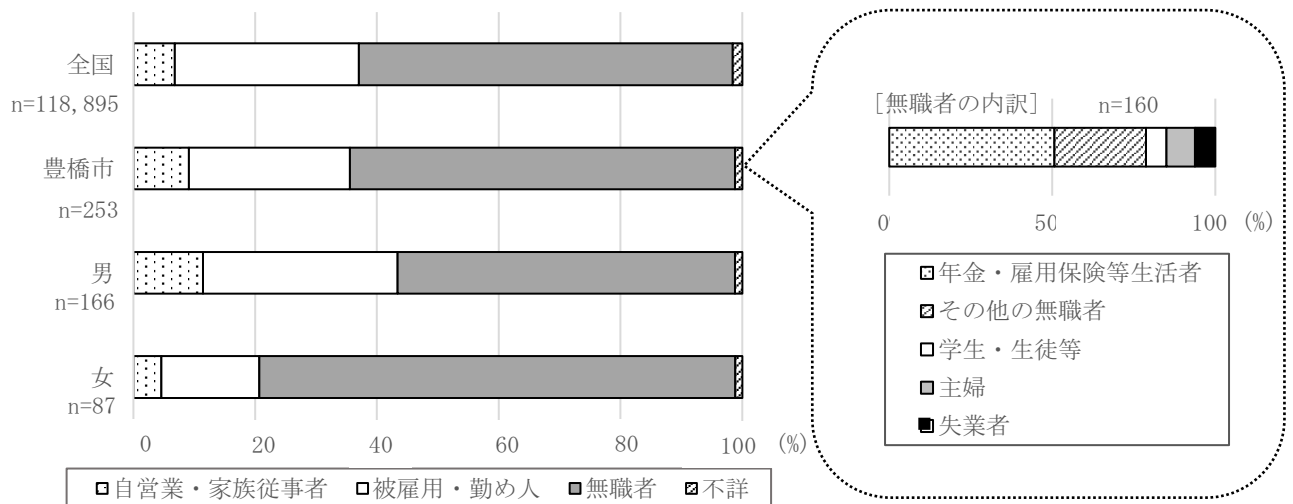


・明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上可能としており、重複もある(不詳を除く)
 ・平成28年(2016年)の豊橋市分は非公表のため含まない

厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(8) 職業別の自殺者割合（平成25年（2013年）～29年（2017年）合計）

無職者が全体の約6割を占めており、男性より女性が高い状況です。全国と比べると、自営業・家族従事者が多く、被雇用・勤め人が少ない状況です。また、無職者の内訳では、約半数が年金・雇用保険等生活者です。

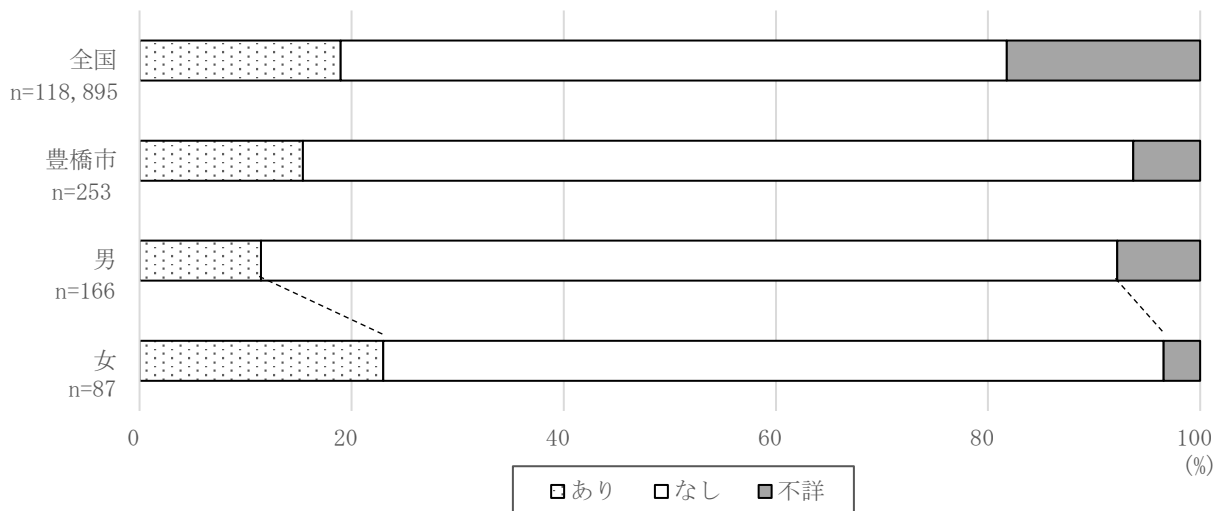


・平成28年（2016年）の豊橋市分は非公表のため含まない

厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(9) 自殺未遂[※]歴の有無別の自殺者割合（平成25年（2013年）～29年（2017年）合計）

女性は男性に比べて、自殺未遂歴のある者の割合が高い状況にあります。



・平成28年（2016年）の豊橋市分は非公表のため含まない

厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(10) 国から示された「地域の自殺の特徴(地域自殺実態プロフィール【2017】)」

(特別集計(自殺日・住居地、平成24年(2012年)～28年(2016年)合計))

国から「地域の自殺の特徴」として示された、豊橋市の自殺の実態は、以下のとおりです。性、年代、職業、同居人の有無から自殺者数が多い5つの区分が示されました。

1) 自殺者数の多い対象群

区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率 (10万人対)	背景にある主な自殺の危機経路*
1位:男性60歳以上無職同居	45	12.9%	36.8	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:女性60歳以上無職同居	41	11.8%	20.3	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位:男性40～59歳有職同居	32	9.2%	15.6	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位:男性40～59歳無職同居	21	6.0%	157.5	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
5位:男性20～39歳有職同居	20	5.7%	13.3	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺

・自殺死亡率の母数(人口)は、平成27年(2015年)国勢調査※を基に自殺総合対策推進センター※にて推計

* 背景にある主な自殺の危機経路

NPO法人ライフリンク※が行った500人以上の自殺で亡くなった方についての実態調査から、それぞれの区分が抱え込みやすい要因とその連鎖のうち主なものを記載

2) 自殺死亡率の高い対象群

区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率 (10万人対)	全国 割合	全国 自殺死亡率 (10万人対)
1位:男性40～59歳無職独居	11	3.2%	265.4	4.2%	275.8
2位:男性20～39歳無職独居	12	3.4%	164.5	2.3%	105.9
3位:男性40～59歳無職同居	21	6.0%	157.5	5.3%	133.2
4位:男性60歳以上無職独居	16	4.6%	84.1	6.6%	96.2
5位:男性20～39歳無職同居	18	5.2%	72.3	5.0%	67.2

・自殺死亡率の母数(人口)は、平成27年(2015年)国勢調査※を基に自殺総合対策推進センターにて推計

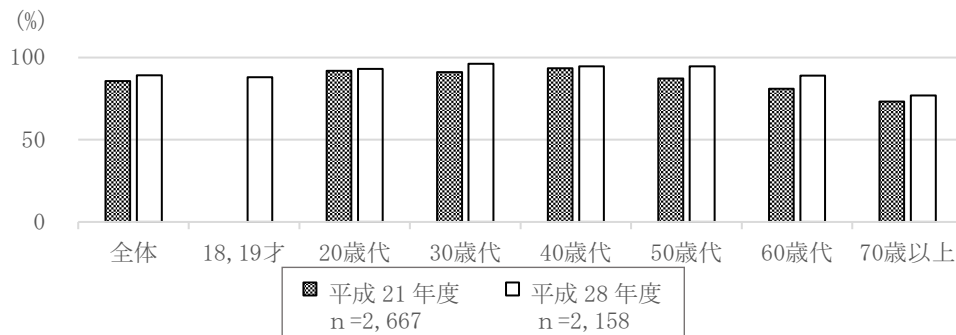
2 市民意識調査の集計結果

(1) 平成21年度(2009年度)、28年度(2016年度)の市民意識調査*の結果

各質問に対し、「はい」と回答した割合を平成21年度(2009年度)と28年度(2016年度)で比較した結果は次のとおりです。(21年度(2009年度)調査は20歳以上を対象としている)

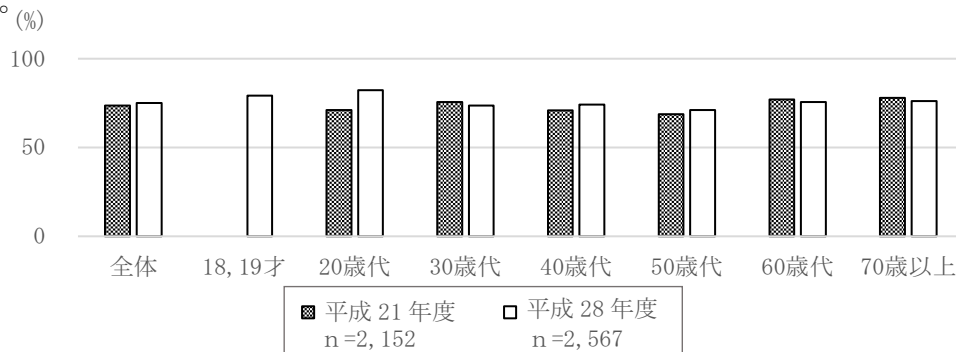
1) こころの病気は誰もがかかる可能性がありますか

「はい」と回答した人の割合が概ね80%以上です。どの年代においても、平成21年度(2009年度)に比べ28年度(2016年度)は割合が高くなっています。



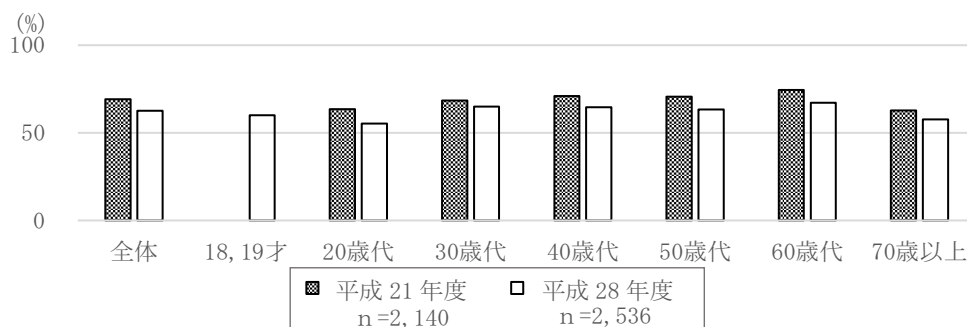
2) 毎日の生活は充実していますか

「はい」と回答した人の割合が概ね70%以上です。20歳代、40～50歳代においては、平成21年度(2009年度)に比べ28年度(2016年度)は割合が高くなっています。



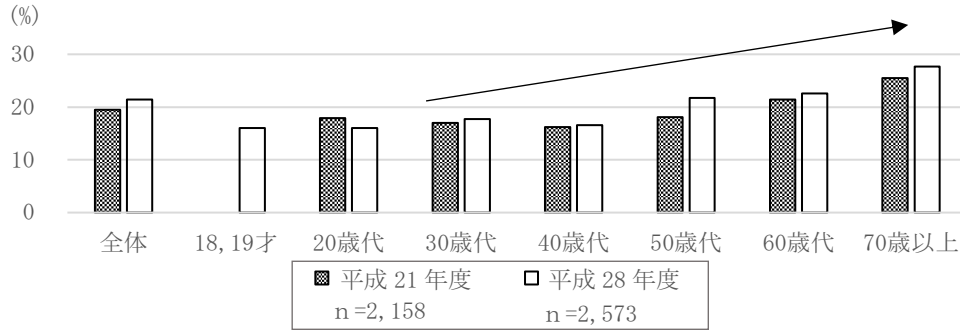
3) 自分は役に立つ人間だと思いますか

「はい」と回答した人の割合が概ね60%以上です。どの年代においても、平成21年度(2009年度)に比べ28年度(2016年度)は割合が低くなっています。



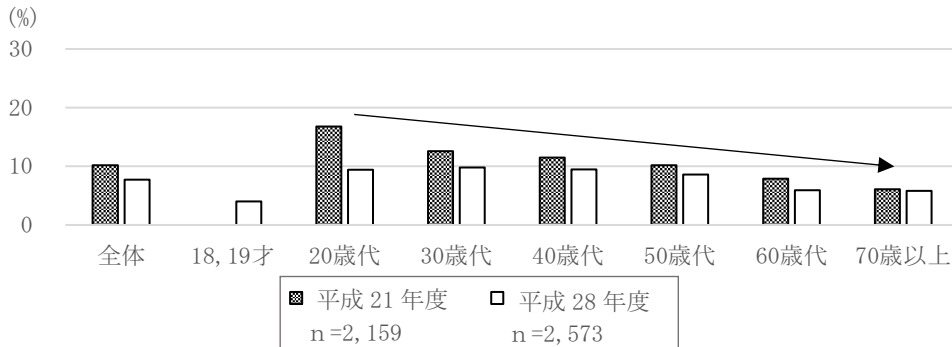
4) 死について何度も考えたことがありますか

「はい」と回答した人の割合が概ね20%で、年齢が上がるにつれ、割合も高くなっています。20歳代においては、平成21年度(2009年度)に比べ28年度(2016年度)は割合が低くなっています。



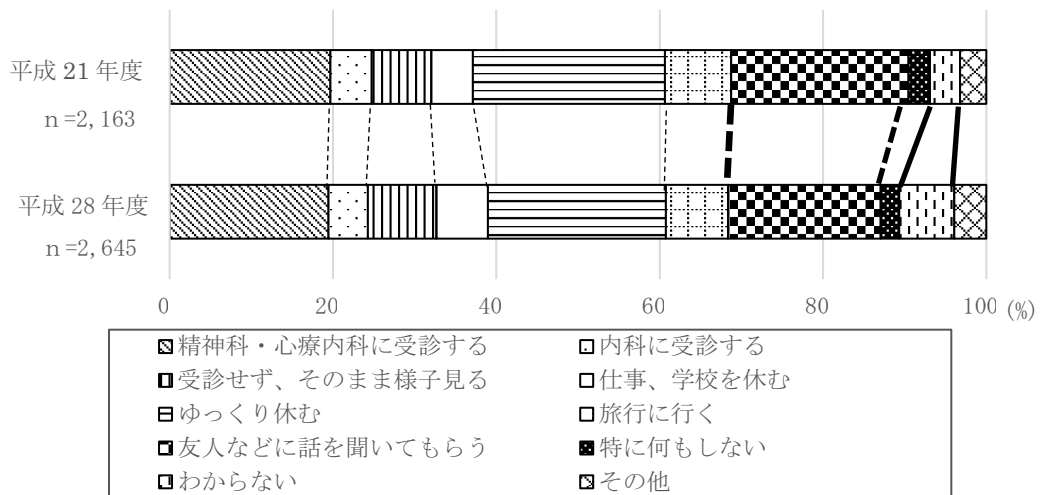
5) 気分が落ち込み、自殺を考えたことがありますか

「はい」と回答した人の割合が概ね10%以下で、年齢が上がるにつれ割合が低くなっています。20歳代においては、平成21年度(2009年度)に比べ28年度(2016年度)は割合が大きく減少しています。



6) あなたはうつ状態が続いたときにどのように対処しますか

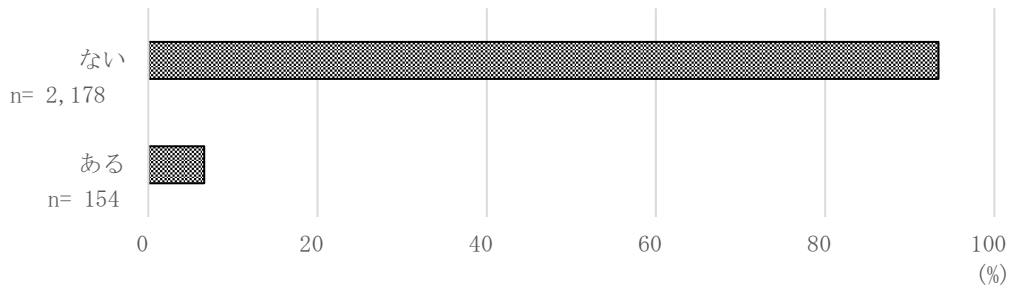
平成21年度(2009年度)に比べて28年度(2016年度)は、「友人などに話を聞いてもらう」の割合が低くなっています。また、「わからない」と回答した割合が高くなっています。



(2) 平成30年度(2018年度)市民意識調査の結果

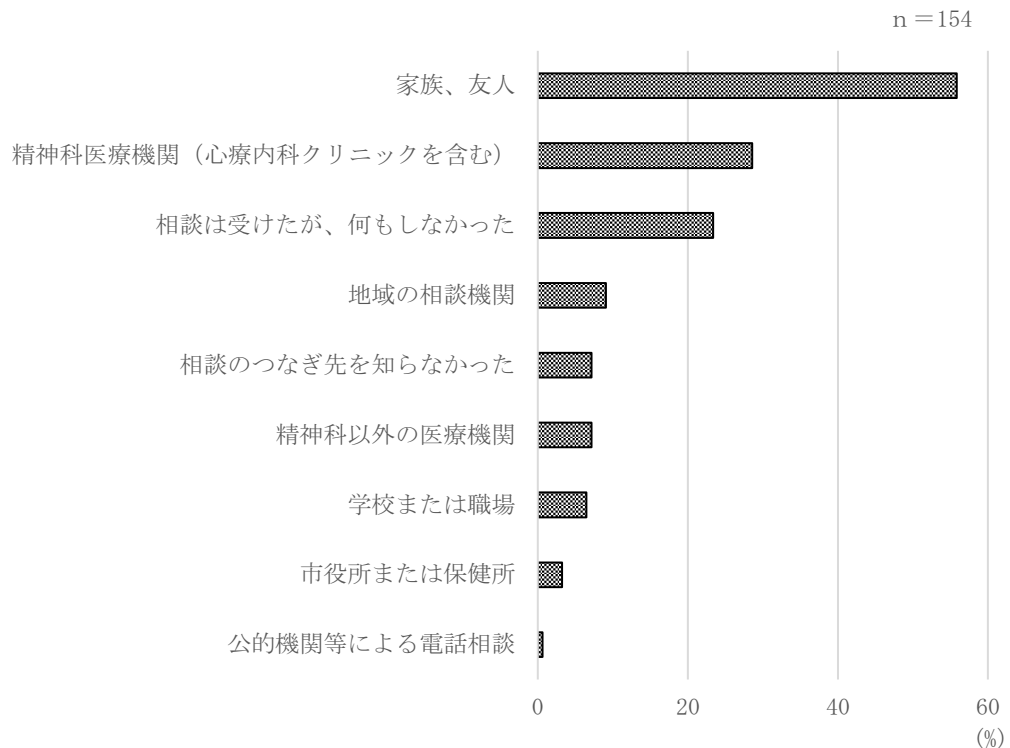
1) ここ5年以内で、身近な人(家族、友人)から「死にたい」という相談を受けたことがありますか

身近な人から「死にたい」と相談を受けたことがあると回答した人は6.6%います。



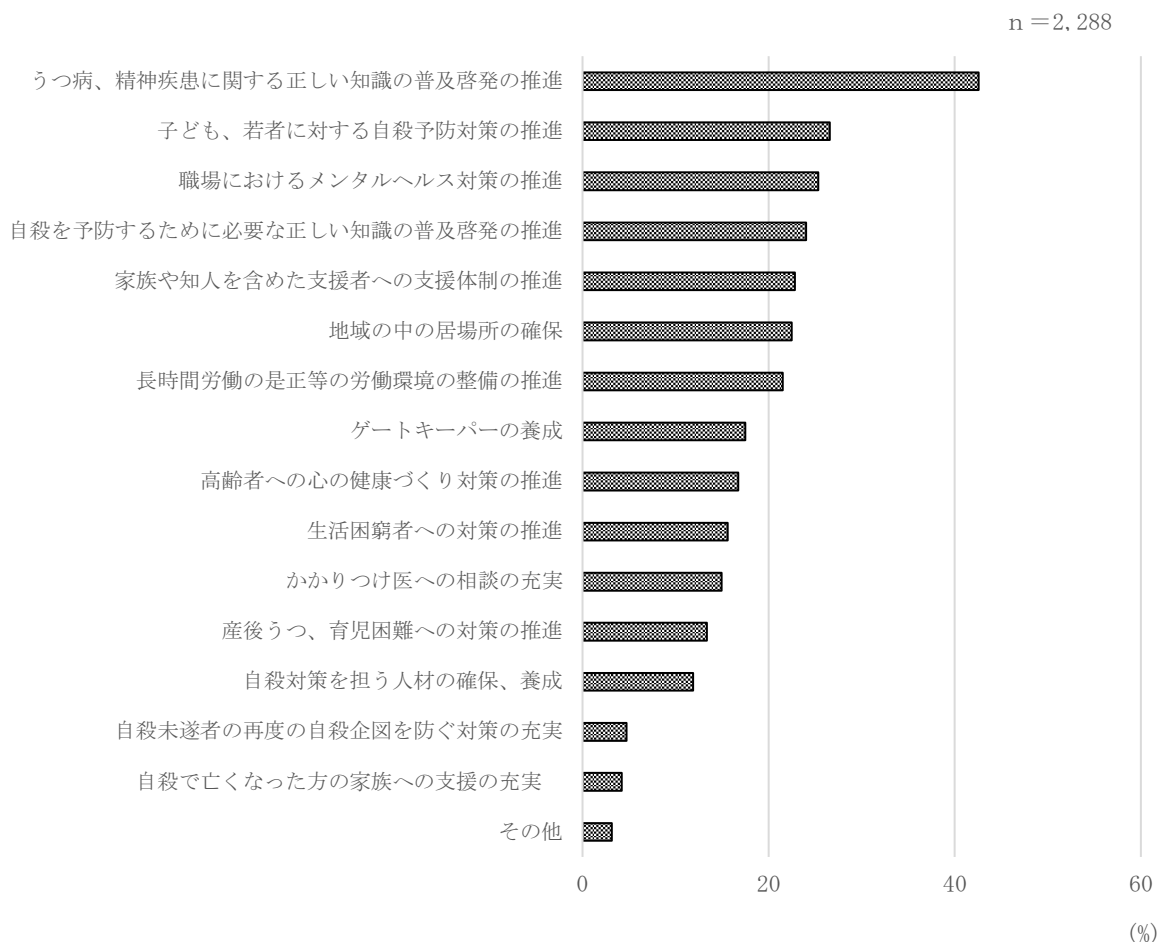
2) 相談を受けたのち、あなたはどこかにもしくは誰かに相談をつなぎましたか(当てはまるものすべてを選択)

自殺の相談を受けた人が「家族、友人」に相談すると回答した人は55.8%います。一方で「相談は受けたが、何もしなかった」と回答した人は23.4%、「相談のつなぎ先を知らなかった」と回答した人は7.1%います。



3) 自殺を予防する対策の中で特に重要だと思われる対策はどれですか (特に重要だと思う事を3つまで選択)

「うつ病^{*}、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発の推進」と回答された人は42.6%で最も多くいます。



***市民意識調査**

市民と行政が一体となったまちづくりを推進するにあたり、市民の皆さまの貴重なご意見やご要望をお聞きし、豊橋市のまちづくりに反映させることを目的に実施している調査です。

	平成 21 年度 (2009 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)
調査地域	豊橋市全域		
調査対象	市内在住の満 20 歳以上の男女	市内在住の満 18 歳以上の男女	
標本数	5,000		
抽出方法	市民基本台帳から等間隔無作為抽出		
調査方法	設問紙に基づく郵送法		
調査期間	2009 年 6 月 15 日 ～6 月 29 日	2016 年 6 月 8 日 ～7 月 8 日	2018 年 7 月 9 日 ～7 月 31 日

3 その他の統計

(1) 豊橋市の産後うつ病^{*}疑い（エジンバラ産後うつ病質問票^{*}9点以上）の発生率

産婦健康診査時（出産後2週間）に産後うつ病の早期発見のために実施するエジンバラ産後うつ病質問票で、9点以上のハイリスク群が約8.7%います。国立成育医療研究センターの調査では、妊産婦死亡の原因で自殺が最も多い状況であり、子育てへの不安やストレスによっておこる産後うつ病が原因の一つと考えられるとの報告があります。このことから、妊娠から育児への切れ目のない支援が重要です。

エジンバラ産後うつ病 質問票回答数	産後うつ病疑い 人数	産後うつ病疑い 割合	全国
1,101人	96人	8.7%	9.0%*

・平成30年（2018年）6月～10月の産婦健康診査の結果

こども保健課「産婦健康診査結果」

*厚生労働省「健やか親子21」最終評価を参照

4 豊橋市の自殺の特徴

(1) 男性の自殺の特徴

- ・男性は女性と比べ、自殺者数が多い
- ・自殺の原因・動機は、「健康問題」「家庭問題」「経済・生活問題」の順に多い
- ・60歳以上の無職者の自殺者割合が高い
- ・40～59歳の無職者の自殺死亡率が特に高い

(2) 女性の自殺の特徴

- ・全国と比べ、特に60歳代の自殺者割合が高い
- ・自殺の原因・動機は、「健康問題」とする割合が特に高い

(3) 子ども・若者（39歳以下）の自殺の特徴

- ・自殺死亡率は、他の年代は年々減少しているが、子ども・若者の年代は横ばいで推移している
- ・若者の死亡原因の第1位は、自殺（その他の死因を除く）である
- ・全国と比べ、20歳代の男性の自殺者割合が高い
- ・全国と比べ、30歳代の女性の自殺者割合が高い

5 豊橋市において重点的に取り組む課題

豊橋市の自殺の特徴に示したように、子ども・若者の自殺死亡率はほぼ横ばいで、減少率は低い状況です。また、全国と比べ高齢期の女性の自殺者割合及び壮年期の男性の自殺死亡率が高くなっています。

今後、重点的に取り組むべき課題を以下のとおりとします。

(1) 子ども・若者に対する自殺対策の推進

若年層における自殺死亡率の減少率が低いため、生きづらさを抱えた子ども・若者に対し重点的に取り組む必要があります。また、子ども・若者への支援は、将来自殺に追い込まれる危機に陥った際に、自殺を踏みとどまる力につながるため、特に優先的に取り組む必要があります。

(2) 高齢期の女性に対する自殺対策の推進

60歳代の女性の自殺者割合が全国より高く、自殺の原因・動機で多くが「健康問題」を挙げています。加齢による身体の衰えや介護負担など様々な悩みや不安が背景にあるため、60歳代の女性に対し重点的に取り組む必要があります。

(3) 壮年期の男性に対する自殺対策の推進

40～59歳の男性・無職者の自殺死亡率は、どの年代よりも高くなっています。

壮年期の男性は、職場環境や経済問題のストレスから、こころの健康に変調をきたしやすい年代です。職場におけるメンタルヘルス*対策等、勤務や経済の問題に関する支援の充実に重点的に取り組む必要があります。